

とっとり イングリッシュクラブ 活動開始!!



《とっとりイングリッシュクラブ》の2年目の活動が始まりました。今年度も登録をした中学生と高校生とが集まって、英語による活動をおこなっていきます。

一緒に活動するのは、県内の学校に勤めるALTです。活動では、小グループごとにALTが加わるので、英語で話す機会も増え、自信や話す勇気がわいてきます。

またこのクラブ活動に何度か参加すると、参加者同士の交流も深まり、英語が好きな仲間の集まりができていきます。

体験をとおして英語でコミュニケーションする場として、このクラブをこれからますます充実させていきます!!

●年度途中からの登録も歓迎します。登録を希望する中学生・高校生は、下記連絡先までお問い合わせください。

今年度の活動日程

プレゼン、海外文化の紹介、音楽、工作、ドラマ、スポーツ、料理、クイズ、ゲームなどを通して、鳥取県のよさを英語で発信する活動をおこないます。

昨年度の活動の様子

8月 8日(土)～10日(月)	10月24日(土) 東部会場1回目
2泊3日英語キャンプ (東部宿泊施設)	11月21日(土) 西部会場2回目
8月22日(土) 中部会場1回目	12月19日(土) 中部会場2回目
	1月23日(土) 東部会場2回目

問合せ先 県教委高等学校課英語教育推進室
電話 0857(26)7959 FAX 0857(26)0408

目指せ パラリンピック ～ユニホックでゴールを目指せ! in倉吉養護学校～



教育委員会では、特別支援学校の幼児・児童・生徒が運動に親しむきっかけづくりとして、平成26年度から鳥取県障がい者スポーツ協会と連携して「目指せパラリンピック事業」を実施しています。

今年度は県立倉吉養護学校のユニホック体験から事業をスタートしました。6月1日は高等部生徒8名が挑戦しました。活動が始まる前からスティックとボールを使ってリフティングをしたりシュート練習をしたりする、生徒のやる気があふれる姿が見られました。シュートやパスの練習をした後、二組に分かれてゲームをしました。全体を見ながら仲間に声をかける生徒、ゴールを決めて全身で喜びを表現する生徒、ときどきした表情ながらもゴールを死守する生徒など、生徒一人一人が生き生きと活動しました。

今後もこの事業を通じて、各特別支援学校の幼児・児童・生徒がスポーツの楽しさを感じると共に、余暇の楽しみが広がることを期待しています。

生徒の感想より

- スピード感があっておもしろかった。
- 道具を使うので難しかったけど、練習をして上手になってうれしかったです。
- 楽しかったので、またしてみたい。

ユニホックって…?

ユニホックは、2チームに分かれ、プラスチック製のスティックでボールを操作し、味方同士でパスをつないでゴールの数を競うチームスポーツです。ボールは穴が空いたプラスチック製の物で、身体に当たってもけがをしにくいように配慮してあります。

問合せ先 県教委特別支援教育課
電話 0857(26)7575 FAX 0857(26)8101

今も未来も健康であるために

若年層で増加する危険な「やせ願望」

やせているにも関わらず「私は太っている」と思い込む「やせ願望」が、女性を中心に増加、低年齢化しています。過度なダイエット等による極端な「やせすぎ」*は、以下に示すとおり、現在の健康だけでなく将来の健康にも影響を及ぼす可能性があります。

たとえば…

- 貧血や栄養不足により、学習や運動に力を発揮できない。
- 将来、骨粗しょう症や不妊になる危険性が増す。
- 生まれてくる子どもが低出生体重児であったり、肥満しやすい体質になる危険性が増す。

今も未来も健康であるために、また将来生まれてくる子どものためにも、食生活を見直してみましょう。

※肥満度(過体重度)＝
〔実測体重(Kg)－身長別標準体重(Kg)〕／
身長別標準体重(Kg)×100%
肥満度(過体重度)が、-30%以下の場合が「高度のやせ」

問合せ先 県教委体育保健課 電話 0857(26)7527 FAX 0857(26)7542

鳥取工業高校 夢をつかむ～技術を研ぎ 身体を鍛え 心を磨く～

県立高校の取組

鳥取工業高校では、日本の工業を支える技術者を育てるため、様々な活動に取り組んでいます。

- 「企業見学会」で現場を知り、さらに「インターンシップ」などで働くことを体験します。
- 「ものづくり講演会」では鳥取にゆかりのある技術者の講演を聞き、そのスピリットに触れます。
- 工業高校生がその技を競う「高校生ものづくりコンテスト」では、電気工事、電子回路組立、木材加工などの部門で、中国大会・全国大会へ出場しています。
- 将来を支える大きな力となる各種資格検定に多くの生徒が挑戦しています。見聞を広め、体験・実践することを通して、自己実現をめざして学んでいます。

部活動や同好会活動では、科や学年を超え深い友情を育み、深く考え、アイデアを出し合うことで、創造力やコミュニケーション能力を研いでいます。

- エコデッカー(一人乗り電気自動車)をゼロから工夫して作り上げ、限られた電力(単三電池40本だけ!)で鈴鹿サーキットの周回タイムを争う競技に参加します。
- レゴロボット等の作成を通してセンサー制御の技巧を競います。
- 競技ロボットの制作には与えられた課題に創意・工夫、技術力で挑み、全国大会等に出場しています。

ものづくりに興味・関心があり、研究心・工夫する力を自分の将来につなげることを夢見ている中学生の皆さん、鳥取工業高校でその力を伸ばしてみませんか!

問合せ先 県立鳥取工業高校
電話 0857(51)8011 FAX 0857(51)8499

鳥取県のエキスパート教員

新たな自分を見つけよう

鳥取県では、優れた教育実践を行っている教員を「エキスパート教員」として認定し、教職員全体の指導力向上を図っています。今回は県立米子西高等学校の寺澤ゆかり教諭(認定分野:保健体育(H24認定))にお話を伺いました。

可能性を広げる体育授業

以前の私は、誰にでも興味が持てるよう、TVではやっているダンスを模倣する授業を行っていました。もちろん模倣も身体への客観的視点をもつ上で重要です。しかし「ゴールフリー」の考え方に気付いてからは、自由な発想力や可能性を広げる授業を目指しています。ゼロから創ることの喜び、新たな自分の可能性の発見、仲間との協調性などを体感してもらいたいと考えています。

今後も、このような学びを追究するとともに、小・中・高の連携に取り組み、「生涯スポーツ」に親しむ生徒が一人でも増えることを願い、引き続き尽力していきたいと思っています。

問合せ先 県教委高等学校課 電話 0857(26)7916 FAX 0857(26)0408

シリーズ プロ(文化財主事)が教える文化遺産のツボ!

第17回 祝!「三徳山・三朝温泉」日本遺産初認定

祝! 日本遺産初認定

そのうれしい知らせは、平成27年4月24日にやってきました。日本の文化財を管理する文化庁は、みなさんの住む地域の文化財や伝統文化を同じテーマでまとめた18件を「日本遺産」として認定したことを発表しました。このうち、鳥取県では三朝町の三徳山・三朝温泉が「六根清浄と六感治癒の地～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉」として選ばれたのです。

日本遺産ってなに?

「三徳山・三朝温泉」が認定された日本遺産とは、今年度から文化庁が始めた制度で、文化財や伝統文化などを織り交ぜた地域の物語を「日本遺産」として認定するものです。これまでの文化財を守る制度とともに、みなさんの地域にある文化財全般をもっと活かし、地域の、そして日本の文化・伝統がもっと魅力を国内外にPRしていこうというものです。

「六根清浄と六感治癒の地」のユニークな世界

みなさんは、三徳山や三朝温泉に行ったことはありますか。三徳山は修験道の聖地とされる山。断崖の地形にひっそりと、かつ厳かに建つ投入堂は、古来より1000年以上変わらぬ神秘的な景観を今に伝えています。また三朝温泉は、その昔、三徳山の参詣者が白狼の命を助けたことをきっかけに発見されたという伝説が残るほか、参詣に訪れる前に心身を清める場所として三徳山信仰と深くつながっています。そして現在、この伝統は三徳山参詣により、人の煩惱や迷いの元とされる「六根(目、耳、鼻、舌、身、意)」を清め、湯治により人が生きる活力になる「六感(観、聴、香、味、触、心)」を癒すという、「六根清浄と六感治癒の地」として日本遺産に認定されました。

みなさんも日本遺産認定を機会に、ココロとカラダを清め、癒す日本遺産の世界を体感されてはいかがでしょうか。

日本遺産を堪能しながら、カラダを癒すのもええもんじゃ。

問合せ先 県教委文化財課 電話 0857(26)7934 FAX 0857(26)8128
鳥取県の文化財情報HP(とっとり文化財ナビ)
<http://db.pref.tottori.jp/bunkazainavi.nsf/index.htm>